

小中再編計画見直し 子供減、推計上回り

市議会で教育長

で船舶を係留していることについて報告を受けた際、即座に是正措置を港湾室に指示しなければならない立場であるにもかかわらず「それを怠った」と指摘した。

第4回定例小樽市議会は10日、会派代表質問に入った。小中学校の再編について適正化基本計画の推計値を上回る児童生徒数の減少が続いてきたことから、林秀樹教育長は「現適正化基本計画による学校再編を見直し、新たな学校再編の考え方について検討する」と述べ、西陵中と松ヶ枝中の再編を見直す考えを示した。

横田久俊氏（自民）と酒井隆裕氏（共産）への答弁。

2018年5月現在の住民基本台帳人口を基にした児童生徒数の将来推計は、現計画の最終年度の24年度に当初推計を約2千人下回る。林教育長は「今後、計画に基づき望ましい学校規模で統合した学校でも、統合時の学校規模を維持することが将来的には困難になると想定される」と計画を年度末には用途廃止する」と述べた。

横田久俊氏（自民）と酒井隆裕氏（共産）への答弁。
見直す理由を述べた。

また、林教育長は「西陵中と松ヶ枝中の学校再編についてもあらためて検討す

ると説明。「松ヶ枝中の現状を鑑み、旧最上小への移転などを早急に検討する」と明かした。

一方で、国立小樽海上技術学校の移転候補地となつて、林教育長は「耐震化の

優先順位が最も高く、教育環境の悪化が危惧され、20年後も道や海技教育機構との譲渡について、迫�哉市長は「道と協議中であり、今後も道や海技教育機構と協議を重ねる必要があるため、年内に結論を出すことは困難」と述べた。



横田久俊氏



酒井隆裕氏

横田氏は、高島の漁港区に観光船の発着施設建設の許可問題について質問。迫�市長は「森井秀明前市長が港湾室から事業者が無許可